



決勝レポート

2022/6/19 Rd-5 スポーツランド SUGO

天候：晴れ/曇り 気温：30℃ 出走台数：21台

観客数：18日(土)3,600人 19日(日)5,100人 合計8,700人

気温30度、路面温度は50度に届こうとする夏のスポーツランド SUGO。

スタート直前に大粒のわか雨が降り、路面温度は40度近くまで下がったが、照りつける太陽で路面はすぐに乾き、53週の決勝レースがスタートした。

大津選手3番グリッド、牧野選手は9番グリッドからのスタート。スタートに集中して臨んだ大津選手は、良い蹴り出しを見せたが位置取り悪く、2コーナーで1つポジションを落としてしまう。牧野選手は1つポジションを上げ8番手走行。そのオープニングラップ、1コーナーでスピン車両が発生し、セーフティカーが導入される。8周目にレースは再開するが、牧野選手をオーバーテイクしようとした松下選手が1コーナーでスピンクラッシュ。再びセーフティカーが導入され、その間にピットストップウィンドウが開く10周目を迎える。ここでチームは大津選手をピットに呼びタイヤ交換。牧野選手はステイアウトを選択し戦略を分けた。15周目にレースが再開されると、牧野選手らステイアウト組は、タイヤ交換組とのギャップを得るため毎ラップ1秒近くタイムを削る。一方タイヤ交換グループの4番手を走る大津選手は、ステイアウト組後方グループのペースが遅く、オーバーテイクの困難な SUGO でペースを上げられずひたすら我慢の走行を強いられる。

2度のセーフティカーランにより、レース最大時間の70分間に53周を消化できない見込みとなったレース後半44周目に牧野選手はピットイン。ニュータイヤを生かした牧野選手はファイナルラップでチームメイトを抜き4位で、大津選手は5位で、70分49週の第5戦を終えた。

5：牧野任祐選手 4位 (HONDA 勢3位)

2度目のセーフティカー導入時、大津選手がピットインを選択したので、チームと相談して戦略を分けました。結果的にはそのことが良かったですが、ステイアウトグループの中ではまだまだ負けている部分も多く感じました。第1予選ではトップをとることができ、決勝のセットアップも改善が進んでいて、あとはしっかりとまとめることで優勝が見えてくると思います。良いステップを踏んで前進しています。次戦へ向けてもチームと共にしっかり準備します。

6：大津弘樹選手 5位 (HONDA 勢4位)

スタートでは1コーナーでの位置取りが悪く1つポジションを落としてしまいました。ミニマム周回数でタイヤ交換しペースアップを狙いましたが、ステイアウト組後方集団のペースに阻まれてオーバーカットされ順位をキープできませんでした。好位置からのスタートを生かせなかったのは悔しいです。次戦に向けて我々が持つ本来のパフォーマンスを発揮する為の取組を続けます。